

南海鐵道難波茶屋間複々線高架橋工事

工事區間

難波天下茶屋間 約2km.85

線路數及線路中心間隔

複々線、内東複線は緩行線西複線は急行線
線路中心間隔は3m.66及3m.96

最小曲線半徑

250m

最急勾配

20/1,000

高架工事方法

難波驛は在來程度の假線設備を西側に新設し中間線路は西方に約1m.0移轉して東方に複線高架橋を築造するものとす。

停車場及停留場

(1) 難波停車場

(イ) 發着線 合計 8本

内譯 高野線 2本 區間線 2本
直通線 2本 急行線 2本

(ロ) 乗降場數 9

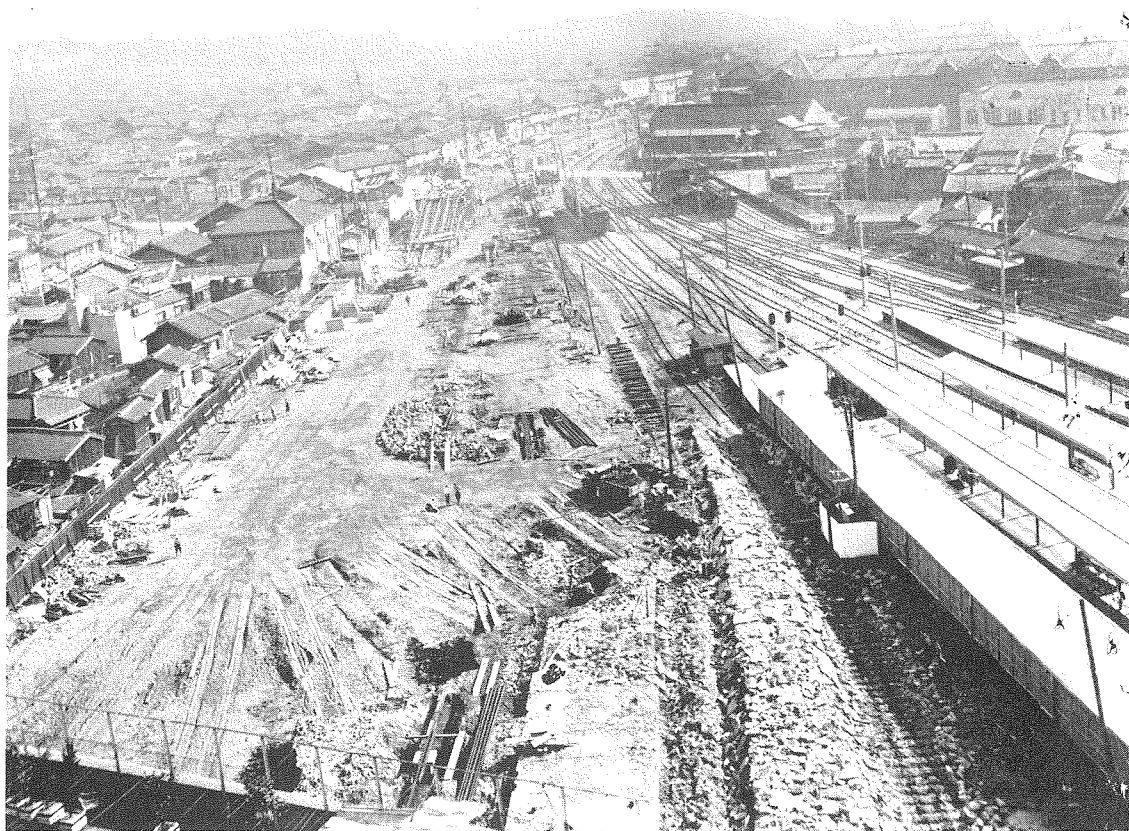
乗車ホーム4、乗客用階段及エスカレーターを夫々設く

降車ホーム5、降車客用出口を二ヶ所とするを以て大階段二ヶ所を設く

(ハ) 乗降場上家

約2,070坪にして線路2本を跨く鐵骨

(1) 南海鐵道難波停



造アーチ4径間とし、柱は降車ホーム
に建植するものとす。

(二) 高架下

難波天下茶屋間高架下利用面積は約
15,000坪にして其内難波驛構内にて確
定せるもの約3,900坪にして其利用方
法は食堂及事務室とす。

(2) 今宮夜及萩の茶屋停留場

東複線の乗降客のみを取扱ひ乗降場は
6m.7×102m乗降場上屋は6m.7×7.7mな
り。

(3) 天下茶屋停車場

大略現の在儘とす

特種交叉箇所

(1) 今宮市電交叉

現在會社線上を横斷せる市電が地平線に

會社線が高架に切換するものとす。

(2) 關西線交叉

現在會社線上を横斷せる省線上を更に乗
越するものとし施工基面差は約11m.28
なり。

橋 梁

(1) 鐵筋又は鐵骨鐵筋混凝土造架道橋15ヶ
所

(2) 鐵桁を架設せる架道橋又は跨線橋其他
8ヶ所

設計動荷重

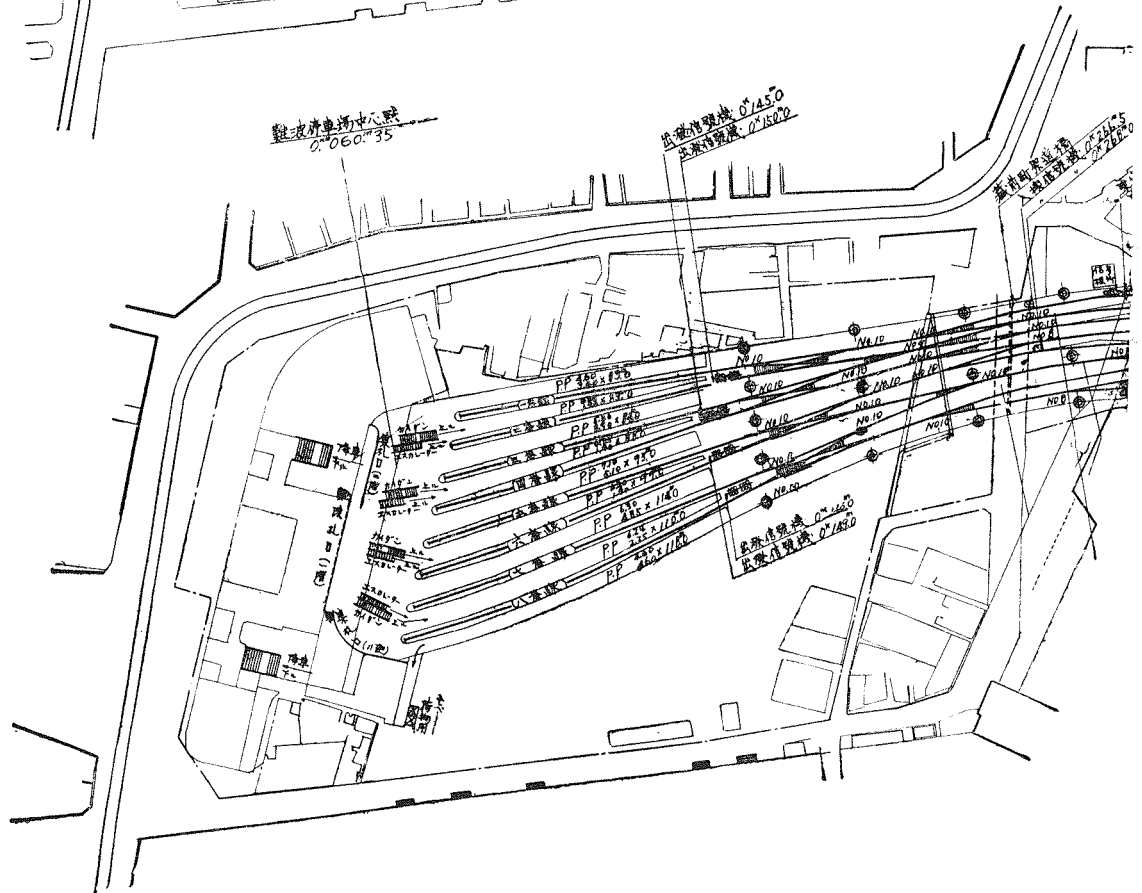
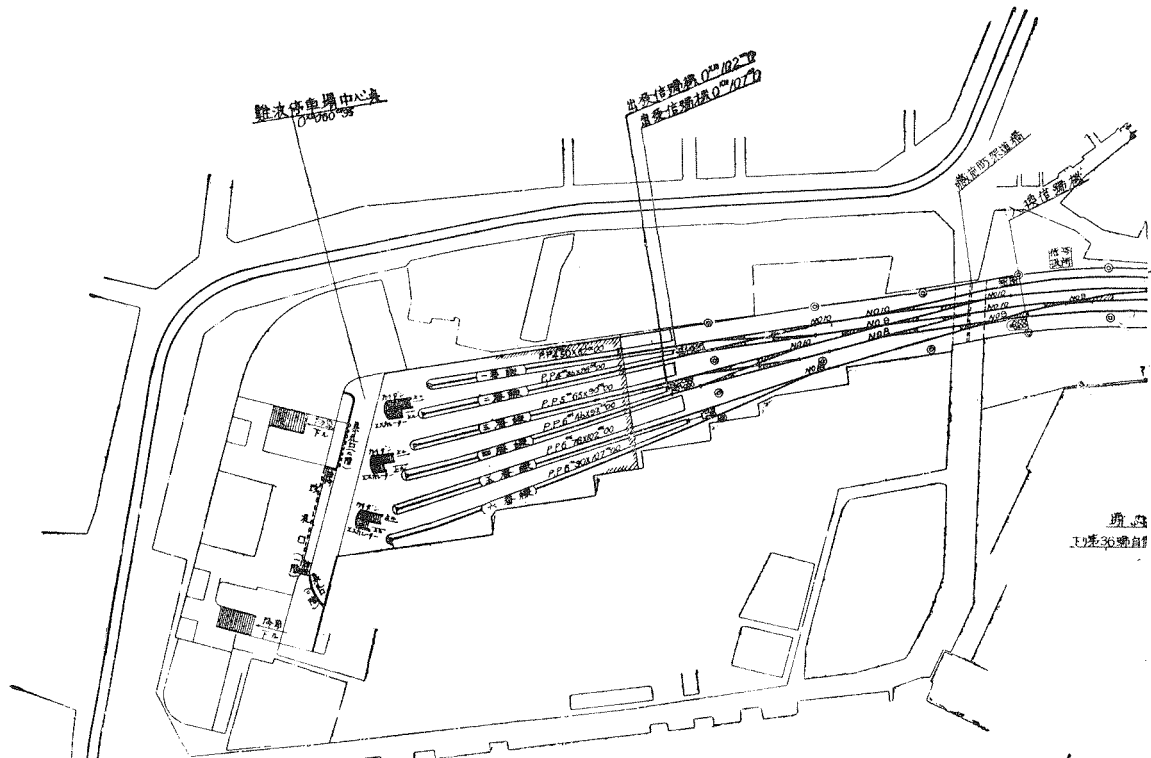
E33.又はK.S15

設 計 渡邊節建築事務所

施 工 竹中工務店
間組

車 場 工 事 全 景。

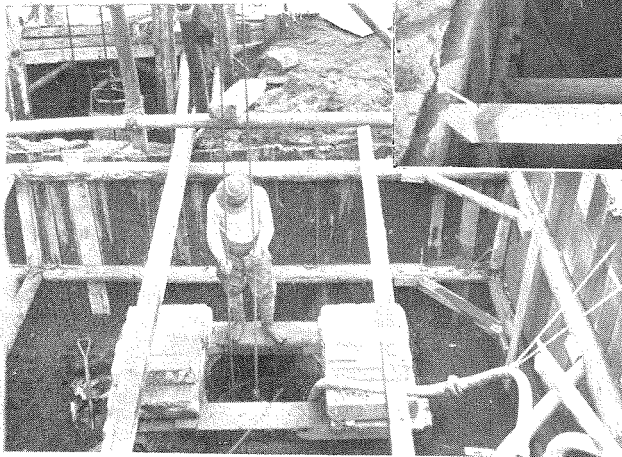
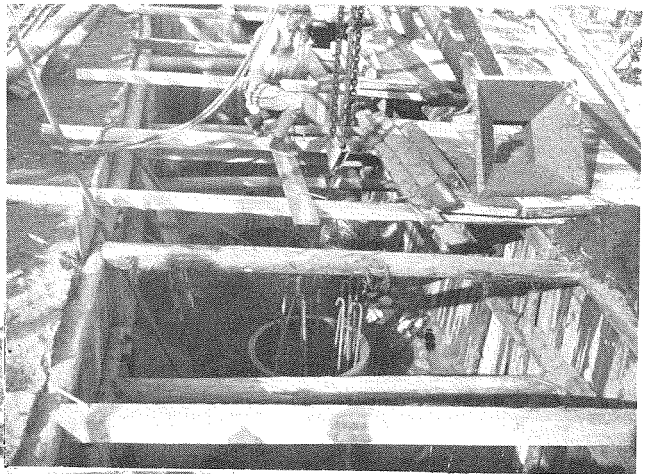






(4) 巖波停車場上家鐵骨組立。

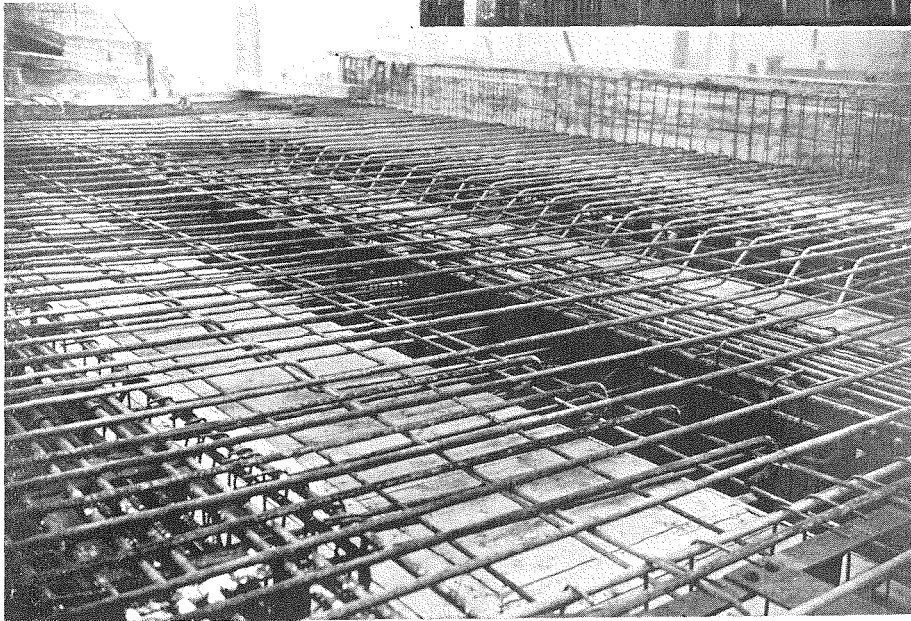
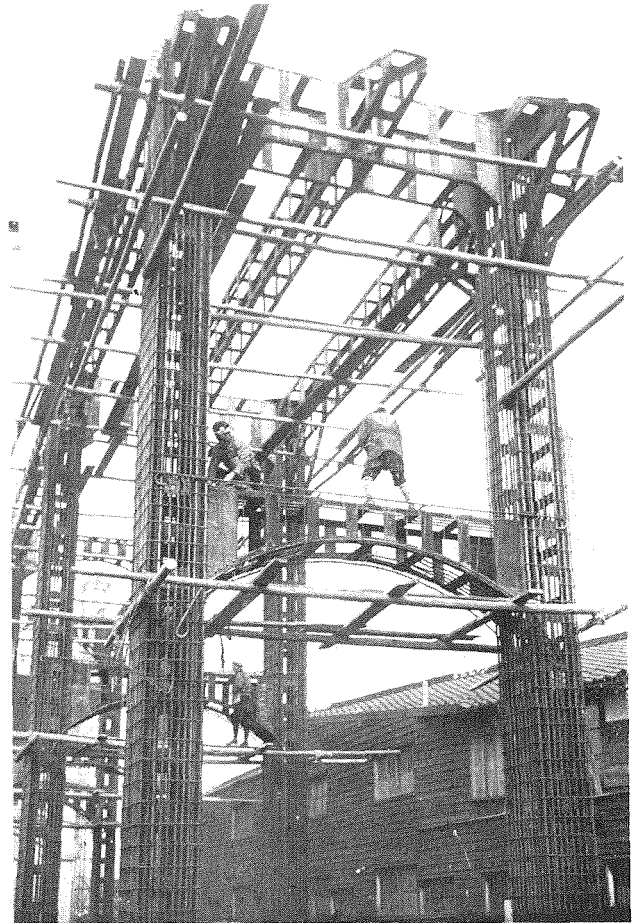
(5) 高架橋基礎井筒、
徑3.3呎、深12呎。

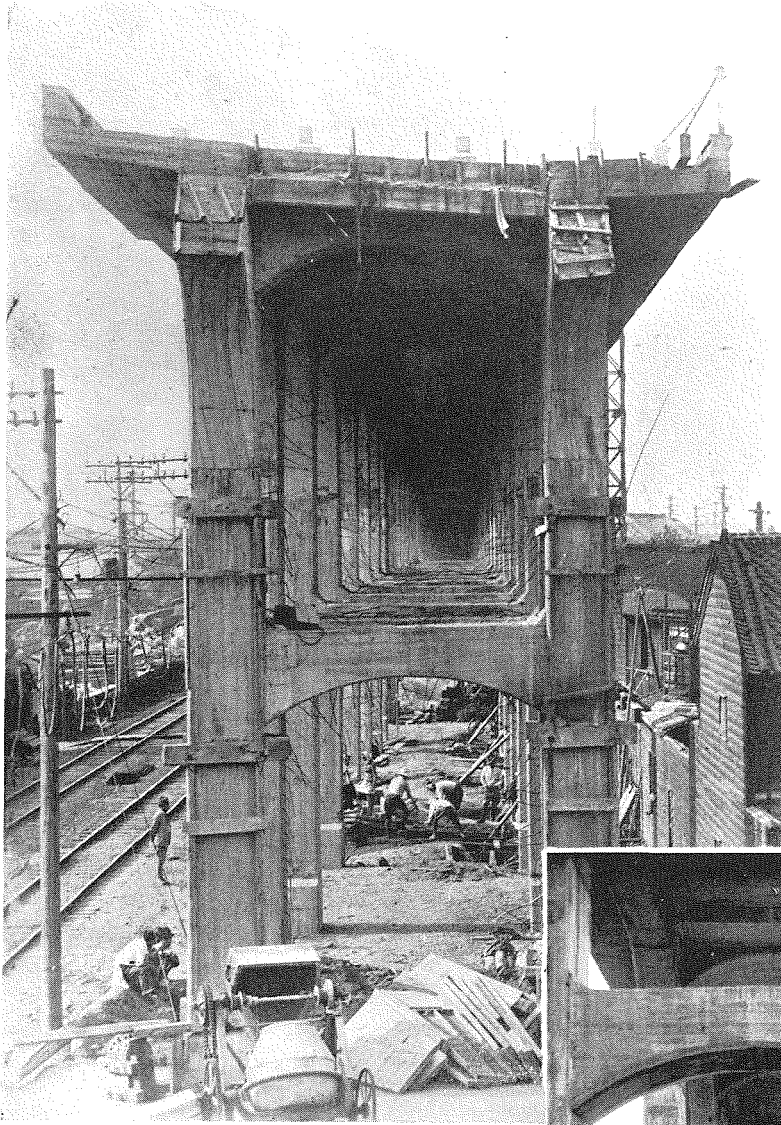


(6) 同、井筒鐵筋配列
中の狀況

(7) 高架橋鐵骨
組立並に鐵
筋配列。

(8) 高架橋スラ
ブ鐵筋配列
狀況。

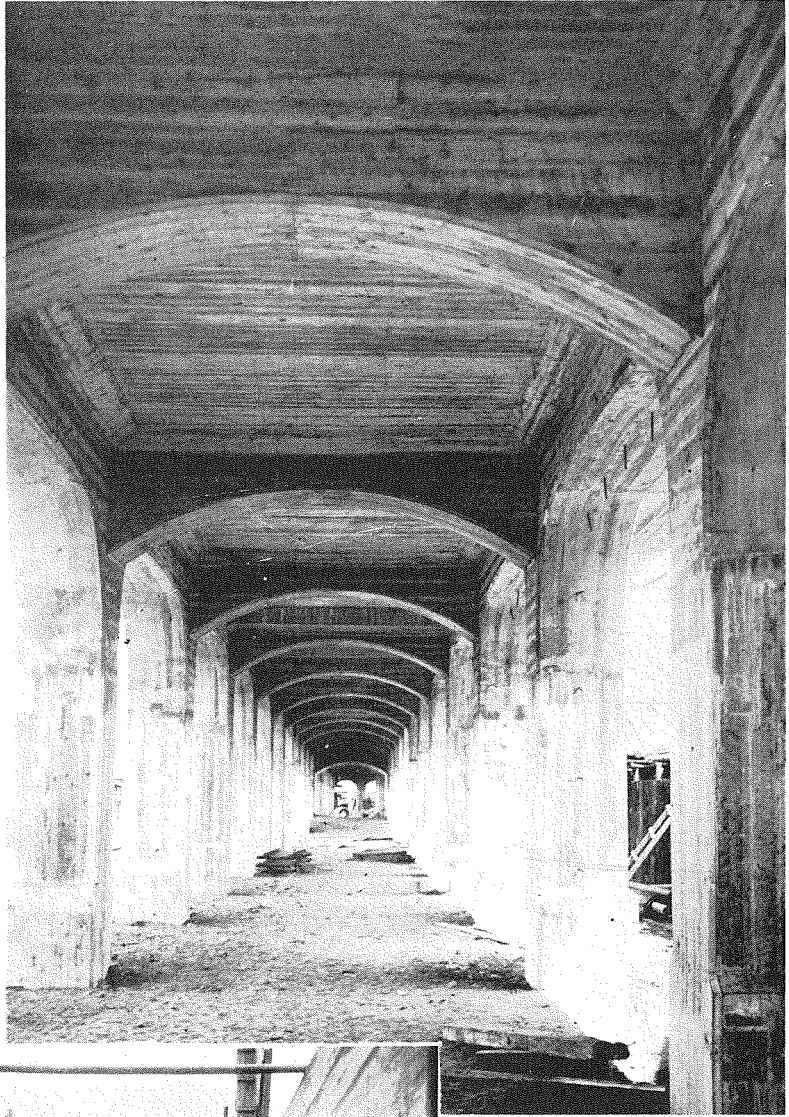




(9) 完成近き高架橋、省線關西線との
交叉附近より北方を望む。



(10) 同じく南
方を望む。



(11) 完成せる萩の茶屋停車場
場附近の高架橋。



(12) 萩の茶屋停車場昇降
階段工事状況。